



## 【意見】

### ◆事業の評価・検証等について

- ①地域経済の活性化の取組のところで、達成度の低い箇所が散見されているので、何らかの取組にはつなげてもらいたい。またビックデータについては、今は色んなツールがあると思うので、一つに決めず活用してはどうか。
- ②人材確保の取組のところで、説明会等への学生の来場が少ないという事に関しては全国的な流れとして理解できるので、地元大学である北見工業大学としても就活の手伝いなどが出来ればと思っている。また、セミナー等に関してもITリテラシーセミナー等であれば講師派遣等の連携ができないかと思う。

## 【当所からの回答】

### ① に対して

達成度が低い取り組みの中で、婚カツ事業、企業見学会等は関係団体とよく協議して実施に努めてまいりたい。また、いま頂戴したご意見のようにビックデータのツールは1つだけではないのでこちらも活用出来るように進めたい。

### ② に対して

北見工業大学には人材確保事業である「オホーツク合同企業説明会」を始めとして色々と地元大学としてご協力をいただいているので、いま頂戴した話を含めて連携させていただき事業を進めて行きたい。

## 【令和6年度事業実施に向けての改善点】

- ・法定経営指導員を中心に、各種セミナー受講者、金融相談事業者など業務を通じて小規模事業者の掘り起こしを行い、BIZミル等のツールも活用し適切な分析を行い、実績を重ねていく。
- ・事業計画策定等支援にあたり、国等が提供するRESAS等を活用し、事業計画の精度を上げ、策定された計画の達成に向けて支援していく。
- ・経営分析件数が増加してきた事により、事業計画策定後のフォローアップ件数も伸びているが、令和6年度は更にきめ細かくフォローアップを行い、策定した計画に沿った事業の進捗状況を確認し支援していく。また、創業間もない事業者に対する巡回フォローアップにつき、北見市をはじめ関係機関や専門家等と連携し、5年度同様に個別相談や巡回訪問を引き続き行っていく。
- ・展示会・商談会出展支援事業者については、これまで出展した事業所も含めより多くの小規模事業者に出展を促すと共に、出展事業者のアウトカムの目標設定を行い、出展効果を高めていくこととする。併せて、ネット販売やECサイト構築等のDX化に対する取組み支援を行っていく。
- ・本計画を推進するうえで、北見市との連携を強固にしながら小規模事業者への伴走型支援を実施する。